



※ビオトープや水の道と10・11番館を  
コラージュしたイメージイラストです。  
位置関係は実際とは異なります。

ビオトープの大切さを、もっともっと知ってください。  
そしてお友達やご家族にも教えてあげてください。



オオカマキリ

## ・ビオトープQ&A・

**Q:** ビオトープの池と  
ふつうの池のちがいはなに？

**A:** ビオトープの池は見た目のきれいさよりも生き物の暮らしを第一に考えています。水草が生え、深さや形に変化があり、いろいろな生き物がすむことができます。

**Q:** 蚊が  
発生しませんか？

**A:** ビオトープではモツゴやメダカなどの小さな魚や、ヤゴなどの水生昆虫が、蚊の幼虫であるボウフラを食べます。また、トンボが蚊を食べますので、心配はありません。

**Q:** 池に生き物を  
放していいですか？

**A:** ほかの場所で捕まえたり、買ったりの生き物は放さないでください。特にコイやアメリカザリガニなどは、ヤゴや水草を食べってしまうので、絶対に放してはいけません。

**Q:** えさを与えても  
いいですか？

**A:** えさを与えると池の水に余分な栄養がとけこんでしまい、自然の生態系がくずれてしまうので、えさを与えてはいけません。

**Q:** トンボの池に  
入っていいの？

**A:** トンボの池の中に入ってはいけません。トンボの池は小さな生き物たちのすみかです。驚かしたり、じゃまをしたりせず、大切にしてください。遊びたいときはじゃぶじゃぶ池をお願いします。

**Q:** 草刈りは  
するのですか？

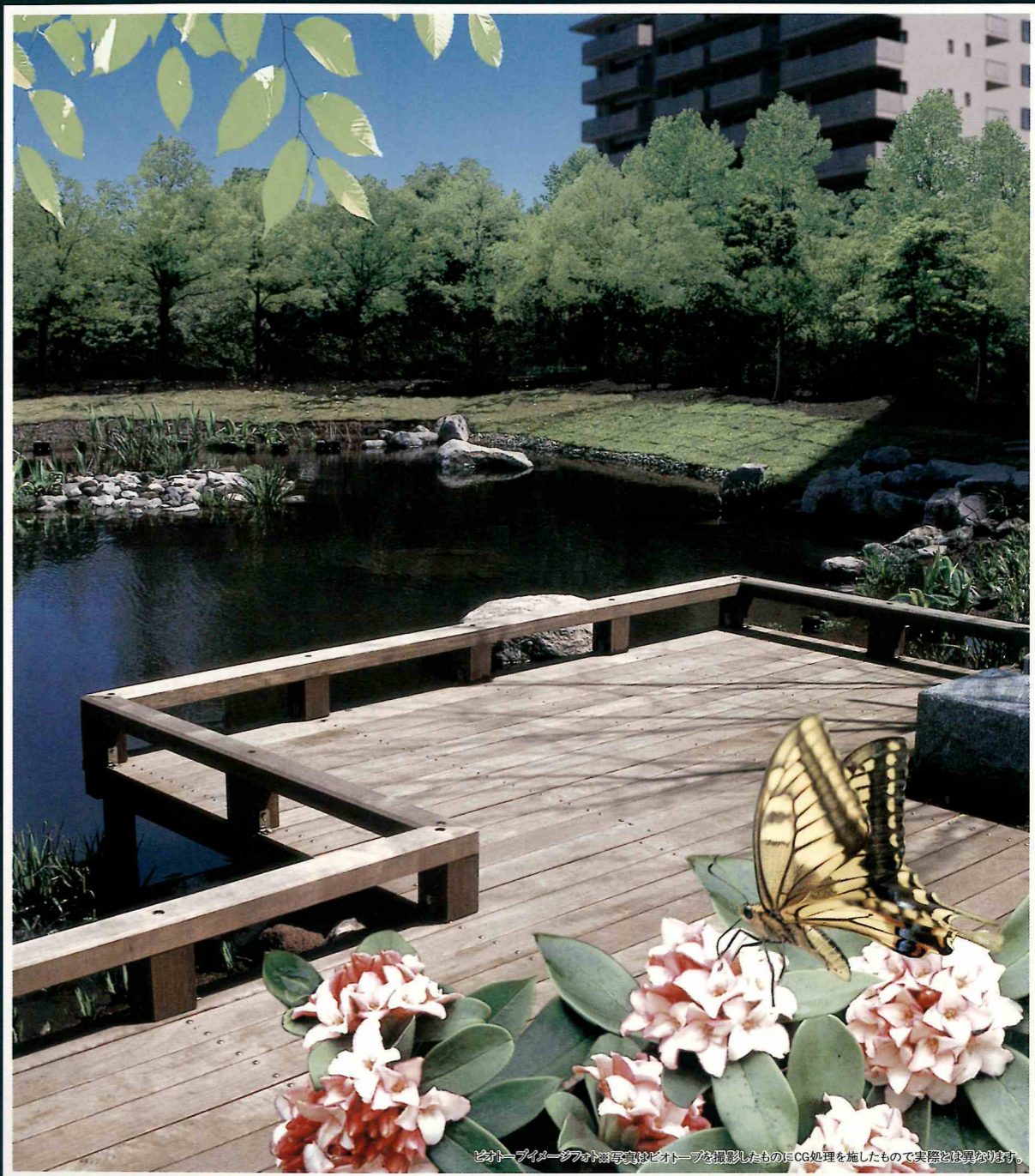
**A:** 人と生き物たちが一緒に暮らすために、必要に応じて下草刈りや落ち葉拾いをします。必要以上に草刈りをする、自然の生態系がこわれますので十分に注意しましょう。

**Q:** 昆虫を捕まえても  
いいですか？

**A:** 小さな昆虫でも、自然の生態系のためにはなくてはならない役割があります。ですから捕まえて観察が済んだら、元気なうちにすぐもとのところに戻してあげてください。

**Q:** ビオトープのことを  
もっとよく知りたいときは？

**A:** プラザハウスの図書室にビオトープのことがわかる本があります。「みんなでつくるビオトープ入門」(合同出版社)、「身近な自然のつくりかた」(講談社)、「ビオトープネットワーク」(ぎょうせい)などをぜひ読んでください。



※ビオトープイメージイラスト。写真は実際のビオトープを撮影したものですがCG処理を施したもので実際とは異なります。

自然とのふれあいをはぐくむために。

環境との共生をめざす街、  
＜瑞穂の杜＞ガーデンプラザ新検見川のシンボリックな施設、  
ビオトープについてわかりやすくお話しします。

ビオトープのご案内

鹿島は最新の緑化技術で  
自然環境を守り、はぐくみます。



＜事業主＞ 開発総事業本部 ハウジング事業部  
＜計画・設計＞ 設計・エンジニアリング総事業本部 ランドスケープデザイン部  
＜調査・研究＞ 鹿島技術研究所 第六研究部

# 小さな生物たちのふるさととなり、 みんなが自然をいつくしむ心を大切にする場所、ビオトープ。



ギンヤンマ



ビオトープ

## 水辺の小さな生物たちが生きられるように 配慮した池、それがビオトープです。

都市から自然が急速に失われつつある現代。環境への関心と野生生物の保護への重要性は高まるばかりです。そこで自然の生態系の保全と復元に大きな役割を期待されているのがビオトープです。「ビオトープ」とは、「Bio」（生き物）と「Tope」（場所）の合成語。簡単に言えば「生物たちが生きる空間」を意味します。ビオトープは、ある特定の生物だけでなく、それを取り巻く多種多様な生物が、共に自然と生息できる環境（生態系）をそなえた空間です。

## ビオトープは自然の生態系＝エコシステムに不可欠な、 生き物たちの生息空間です。

自然界では動物、植物などの「生物的環境要素」と、空気や土、水、太陽の光など「非生物的環境要素」から成り立っています。これらの要素が、ある一定の地域内で互いに結び付き、影響し合いながらカタチづくる自然の循環システムが生態系＝エコシステムです。ビオトープはそのエコシステムに必要不可欠な「生き物たちの生息空間」なのです。



モンシロチョウ

アキアカネ

アメンボ

アネシジメ

アジイトトンボ

ヒメゲンゴロウ

## ビオトープを通じて自然や環境の大切さを知る。 これからの街づくりに欠かせない視点です。

ビオトープを創ることで、市街地や集合住宅にも野生生物の生息環境を創り出すことができます。人々に自然とふれあえるやすらぎの場を与え、自然の仕組みや大切さを学ぶ環境教育の場として利用することもできます。

## もう始まっています。ビオトープを中心に かけがえのない自然を守り、はぐくむ暮らし。

ビオトープの生き物たちのくらしはすでに始まっています。小さな生き物たちが安心して生活でき、お子様が伸びやかに遊び、自然について楽しく学べる場となるために…。また、居住者の皆様にいつまでも愛され、有意義な場であり続けるために…。このビオトープが「ガーデンプラザ新検見川」と地域の自然環境の復元と保全に役立てば幸いです。



## じゃぶじゃぶ池

じゃぶじゃぶ池は、はだしで入って遊べる池です。お父さんやお母さんが水辺でくつろげるように、木のテラスもあります。自然を大切にするために、池の水には雨水も再利用されています。



## バッタの丘

バッタの丘は、かけっこしたり、寝そべったり、みんなが思い思いにくつろげる芝生の丘。タンポポ、クローバーなど季節の花が咲き、目をなごませてくれます。



## 風車

この風車は、風のエネルギーを利用した発電装置。夜、木デッキを照らす照明灯のための電力として使われています。



## 雑木林

チョウなどの昆虫もやってきます。コナラ、エゴノキ、シラカシ、ヤマボウシなど、この地域にもとからあった樹木を植え、もとの自然をよみがえらせました。また、人びとが花や紅葉を楽しめるように工夫されています。

## なかのしま

ここに飛んで来る鳥たちが水浴びしたり、羽を休めたりする場所。クロモ、セリ、クレソン、ミズバショウなどの水生植物を育てる予定です。鳥をつくるのに、池の水をきれいにする効果のある炭炭も使っています。

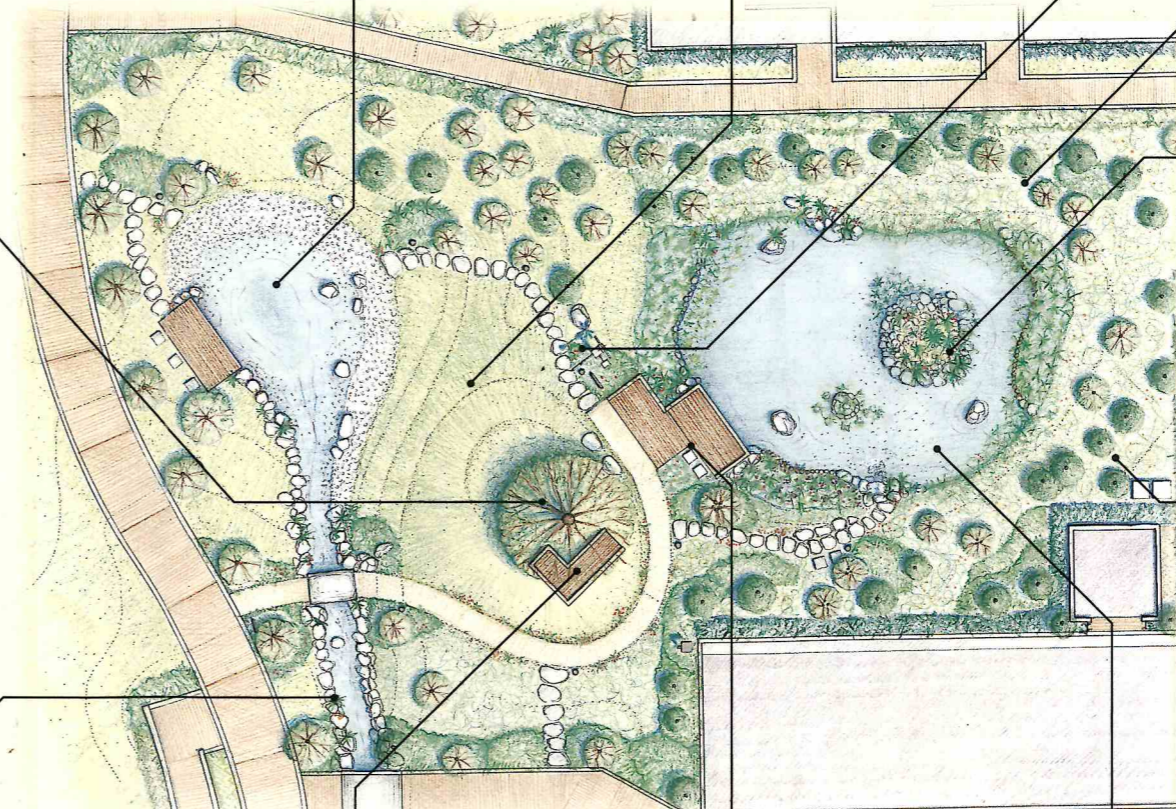


## 小鳥の森

モチノキ、コブシ、ツバキ、ミカンなど野鳥が好む木の実がなる木や水生植物のほか、さまざまな樹木や草花を植えました。小鳥たちが水辺で遊んだり、休んだりできるようにしています。



水あびをしているスズメ



※このイラストは図面を基に描き起こしたもので実際とは異なります。



## ケヤキの大木

このケヤキはビオトープでいちばん大きな木。小鳥たちが羽を休める止まり木になったり、セミなどの昆虫たちも集まってくる場所です。元気な子は木登りだってできます。

## 水の道

敷地内を約200mにわたって流れ、子供たちが自由に水遊びができます。



## ツリーハウス

みんなが休憩したり、バードウォッチングが楽しめる場所です。まわりの緑にとけこむように、すべて木材で作りました。



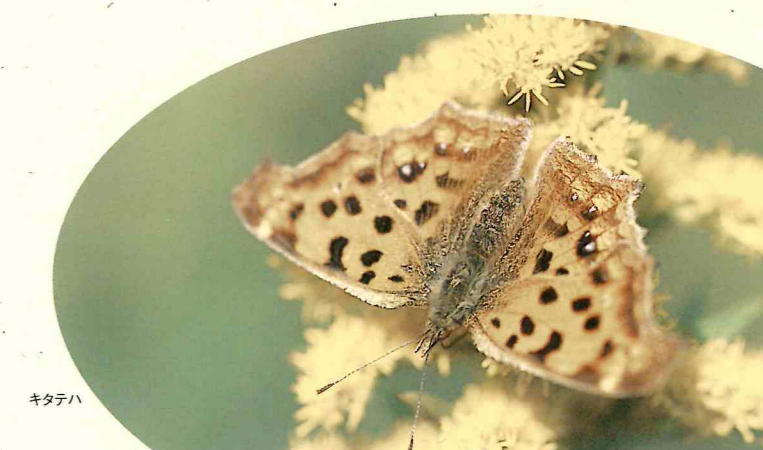
## 木デッキ

トンボの池のほとりに木デッキがあり、みんなが水に親しめるようになっています。水生昆虫などの小さな生き物や水生植物など、水辺の生態系を楽しく観察したり、学んだりするのにぴったりです。



## トンボの池

トンボが飛び、トンボの幼虫のヤゴが生まれ育つ池。メダカなど小さな魚も泳いでいます。水辺の昆虫たちが生活できるようにハナショウブなどの水生植物も生えています。



キタテハ